

幻の城に 出合おう

歴史のロマンがいさなう
屋嶋城・丸亀城・高松城

讃岐 ● 土産

家でも外出の時も 香川メイドの 逸品をお供に

地域の産物や伝統の技術を生かしながら、今の暮らしに溶け込む香川発製品のブランド化を目指し、毎年開かれる「かがわ県産品コンクール」。平成27年度二枚部門の受賞品は、見た目だけでなく手触りや使い心地も自慢です。



ほたけ
保多織×う・ちわ

こびり参りのお土産品として広まった丸亀うちわと、細かな凹凸が特徴の織り方が特徴の保多織。2つの伝統工芸品がコラボレーションしました。う・ちわのやわらかな竹と柔らかな布からは、これからの春の風が生まれます。
【うとん社、それだけじゃない香川県】贈答賞(最優秀賞) 一般部門



うとん
瀬戸の波皿・象谷塗

木肌が生きる質感で、手触りも柔らかな象谷塗の漆器です。伝統の技を生かしつつ、瀬戸内海のさざ波をイメージし、カジュアルな装いに仕上げました。瀬戸内の海を表すブルーやオーリーブなど緑色は5色あり、組み合わせを楽しめます。
【うとん社、それだけじゃない香川県】贈答賞(最優秀賞) 一般部門



オーリーブ色の
A4ビジネスバッグ

香川らしいオーリーブ色とグレーのワートーンが魅力的。小豆島で精製したオーブオイルでなめした牛革と、ワックスを手塗りした牛革の組み合わせに、職人が光ります。ホックの付け外しにより、3通りの使い方ができます。
【うとん社、それだけじゃない香川県】贈答賞 一般部門



栗林公園の東門の横にある、香川産品のアンテナショップ。掲載品をはじめ、お土産として買える品がそろっています。

かがわ物産館 栗林町
TEL087-812-3155

※今回、紹介した商品は、お取り寄せになる場合があります。

香川県情報誌

新・さぬき野 2016 春

No.52

香川県に関する問い合わせ

- 香川県広報広聴課 〒760-8570 香川県高松市番町4-1-10 TEL087-832-3019
- 香川県のホームページ <http://www.pref.kagawa.jp/>
- 新・さぬき野のページ <http://www.pref.kagawa.jp/kochi/sanukino/> (電子ブック・スマートフォン版有り)
- 香川県観光事務所 〒102-0093 東京都千代田区平河川2-6-3都道府県会館9階 TEL03-5212-9100
- 香川県大阪事務所 〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-18-24クロスシティ心斎橋4階 TEL06-6281-1661



かがわのけい、かがわのじん。
香川県



屋島観光の中心、山頂にある屋島寺や展望台から南に外れた静かな場所に復元された石積みの遺構。これが、1300年の時を経て姿を現した「屋嶋城」の城門である。

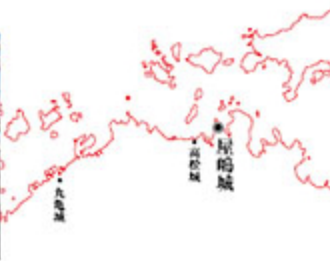
屋嶋城は日本書紀の中で「讃吉國山田郡屋嶋城」と記されている古代の山城で、667年に築城された。当時は大和朝廷が治める飛鳥時代。百濟再興のため、朝鮮半島で戦いを続けていたが、4年前の663年「白村江の戦い」で唐と新羅に大敗している。次は倭国が攻められるのではとの危惧から、屋嶋城のような城を要所に整備したと考えられている。

城門からの眺めは素晴らしい、高松の街を東側から広く見渡せる。かつて屋嶋は文字通り「島」であったが、後世の自然堆積や塩田開発などによって地続きとなった。飛鳥時代であれば、城門の位置はまさに高松の対岸。敵船を見張るうってつけの場所であったのだろう。

それにしても1300年前、山頂に巨大な石積みの建造物を人力で造る困難はいかほどであったか。これほどのものを完成させたという事実は、日本書紀に記された亡国の危機が現実であった証である。屋嶋城は、歴史に直を通わず、飛鳥時代と現在を結びつける。

屋島山頂の楽しみ イダコのおでん

屋島山頂では、「イダコのおでん」が名物である。弾力のある小振りのタコをかみしめると、瀬戸内の味が広がる。



屋嶋城の発見者

平岡岩夫さん
インタビュー



屋嶋城に興味を持ったのはなぜですか。

転勤で香川に赴任し、歴史の良さや歴史的背景の面白さから屋嶋のファンになった。屋嶋のハイキングを巡り香川大学教授(当時)の岡本研三氏に出会い、屋嶋城の話を教えてもらったのが興味を持ったきっかけ。幻の城であったが、自分なりに研究をし、その実在を信じていた。

どのように発見したのですか。

専門家の調査は山頂から行うことが多いそうであるが、私は城を攻める側の気持ちになり、麓から山頂を目指して遺構を探すことにした。書虫の少ない冬季に5年かけて調べ尽くすつもりでいたが、運よく2年目に石積みを見出すことができた。

今後、屋嶋城に期待することは何ですか。

城門は復元できたが門番がない、パーチャルで見せる計画はあると聞かされたが、ぜひ実際に門扉を取り付けて欲しい。また屋嶋城をきっかけに、地元の人には自信を持って屋嶋の素晴らしさをアピールしてほしい。

18年前、源平の合戦で知られる屋島で歴史的な発見があった。日本書紀に記述されている「屋嶋城」。はっきりした遺構が確認できず、幻の城といわれていたが、その城門の一部が見つかったのだ。以降、発掘と復元が続けられていた山上の城門が今春、3月19日(土)より一般公開される。

屋嶋城の復元を機に、高松城、丸亀城を併せて香川の3城を巡る。城には必ず歴史の裏付けがある。瀬戸内国際芸術祭と一緒に、春の香川で歴史ロマンを旅する。

幻の城に出会う

飛鳥の記憶を
呼び覚ます
屋嶋城

やしまのき



丸亀城といえば、その石垣の美しさをもって語られることが多い。龜山という小さな山を利用して築城されており、美しく積まれた石垣が山全体を囲んでいる。高さ20段を超える城壁が連続する姿は圧巻である。石垣の組み方にも特長があり、下の方は緩やかに組み、上に向かうほど垂直になる反りを持つている。このなだらかなカーブは「扇の勾配」と呼ばれ、曲線美の石垣として名をはせている。石垣に勾配があるのは地震対策の一つと考えられているが、丸亀城築城の頃は戦国から平和へと向かう時代。石垣や城の美しさが大名の威信を表すようになっていた。

天守まで登ると、城の正面（大手）となる北側に丸亀の街と瀬戸内海が見晴らせる。まさに城下町の風景である。しかし、築城当時、城の正面は南へ向いており、城下町も南に広がっていた形跡が残っている。城を完成させた山崎家に代わり、京極家が丸亀藩主となった際に正面を北側へ移し、現在につながる城下町を整備したのだ。北側は海運に便利な瀬戸内海に通じ、南側には平野が広がる。「自分ならどちらに街を作るか」と考えながら、風景を楽しむと面白い。



藩主によって
正面を変えた
丸亀城
まるがめじょう



**刀剣女子を魅了する
ニッカリ青江**

京極家が豊臣秀頼より拝領した名刀「ニッカリ青江」。豊臣青江の刀工良次の作と伝えられており、もとは長い太刀であったものを、後世に藩主として加工している。現在は丸亀城内にある丸亀市立資料館が所蔵。日本刀を愛する剣女子から人気で、一般公開される時には全国からファンが集まる。ユニークな名前は「夜中ににっかり笑う女眞鍮を切り捨てたところ、翌朝見てみると石塔が切り落されていた」との伝説に由来する。



「ニッカリ青江」公開予定
常設展示
「KATANA — 刀を楽しむ3つの見方 —」
平成26年4月8日(金)～5月29日(日)
会場：香川県立ミュージアム TEL:087-822-0002(代)

**丸亀藩主の別荘
「中津万象園」**

徳川家綱が4代将軍であった万治元年より、丸亀藩を治めたのが京極家である。茶の湯に通じた二代藩主・京極高直により、藩主の別荘として造られたのが中津万象園である。海辺の回遊式大名庭園であり、池には海水を引き込んでいる。園内には現存する最古の煎茶亭とされる「観瀾楼」がある。茶亭としては珍しい中二階の高床式建築で、高さのある茶室から瀬戸内海の景色を楽しんだのではないかと考えられている。



**丸亀で楽しみたい
たこ飯**

瀬戸内海はタコがおいしいことで有名で、丸亀でもタコ漁が盛んである。地元で採れたタコを使う「たこ飯」は名物料理の一つ。季節によりイダコやムスコを使う。



高松城は海際に立つ城で、日本三大水城の一つ。「讃州さぬきは高松さまの城が見えます波の上」とうたわれるほどで、堀には海水が引き込まれている。石垣や門、いくつかの櫓が残っているものの、老朽化により天守は失われており、現在は「玉藻公園」として、市民や観光客に愛されている。

高松城を築城したのは、豊臣秀吉の家臣、生駒親正である。親正が讃岐領主になった1587年頃の高松は「野原」と呼ばれる港町であったが、干拓できる条件がそろっていた。そこに目を付けた親正が、堅牢な城を沿岸に築くことで防波堤とし、干拓によって平地を整備し、城下町を広げたのではないかと考えられている。今の高松の発展を見ると、見事な都市計画であると言わざるを得ない。

さて玉藻公園では、平成25年より和船の乗船体験が始まった。「玉藻丸」と名付けられた和船に乗り、船頭のガイドを聞きながら堀の中を30分ほど遊覧する。海水が流れる堀の中には鯛が泳いでおり、舟からのエサやり体験もできる。お殿様気分の一ひとときである。



**隠れた名物料理
べえすけ鍋**

穴子は瀬戸内海の名物の一つであるが、その中でも大穴子のことを中心とした料理は「べえすけ」と呼んでいた。このべえすけを使った料理が「べえすけ鍋」。すき焼き風の甘い味付けで、軟らかい穴子がおいしく食べられる。



**高松城の石垣をまたぐ博物館
香川県立ミュージアム**

玉藻公園のすぐ東には香川県立ミュージアムがある。建設時の発掘調査で高松城の石垣の一部が発掘されたため、石垣を残したままのデザインで建設されている。正面玄関の横が、ちょうど石垣である。ミュージアム内の歴史展示室・近世のコーナーでは、高松城や丸亀城の歴史的な背景を詳しく知ることができる。
香川県立ミュージアム TEL:087-822-0002(代)

城とは何であるか



香川県立ミュージアム館長
西岡 達哉さん

「城」と聞けば、多くの人がお殿様の住むところのイメージを持っているのではないだろうか。間違ではないが、それは江戸時代以降の話。戦国時代までのほとんどの城は、今でいう、難所のような場所であった。土地を奪い合うのが戦であるが、本質的には、民を含む「城」の価値を奪い合っていたといえる。むしろ民を殺したりはしなかった。そのため、戦の価値が決するまで、領民が避難する場所こそが城だったのである。山の上など、不便な場所に城があるのも、避難場所であることから。平時には、自らの命を守ってくれる場所として、領民が城の維持管理に関わっていたようだ。小さな香川県だけでも約400の城跡が確認されており、城が身近な存在であったことがわかる。

さて、今回紹介している丸亀城、丸亀城、高松城は、それぞれ役割が違う点に注目できる。丸亀城は古代の国防のため、丸亀城は戦の城から藩主の居城へと変遷し、高松城は都市計画の一部として築城されている。その視点を持って巡ると、面白さが増すはず。歴史の中に、もう一歩踏み込んで楽しんでほしい。



水城の意外な理由に驚く
高松城

たかまつじょう



東京カメラガールズ
うどん県・アート県を
撮る
Tokyo Camera Girls
Udon-Ken, Art-Ken wo Toru



小豆島オリブ公園【鳥エリア】

瀬戸内国際芸術祭の舞台ともなる島々は、映画のロケ地としても有名。小豆島では「魔女の宅急便」の撮影も行われた。



瀬戸大橋記念公園【中瀬エリア】

瀬戸大橋とアートを楽しむ海辺、日本一の海の神様や弘法大師・空海の誕生寺などパワースポットも多い中瀬エリア。



引田の町並み【東瀬エリア】

古い町並み、手袋工場と見応えいろいろ。ハマチと和菓子、おいしいものもいろいろ。愛らしいイルカにも会える東瀬。



第82番札所 根香寺【高松エリア】

歴史の観光地である屋島山上に栗林公園と、シャッターチャンスが多い高松市、四国霊場のひっそりとした名刹も見逃せない。



高松シンボルタワー【高松エリア】

様々な表情をさせるシンボリック高松。イベント会場やホテルもあり、息々の船もここから出港。楽しい旅の始まりは高松から。

東京カメラガールズ
Tokyo Camera Girls

東京カメラガールズの「うどん県日記」

2015年秋、みずみずしい感性を持った51人の若い女性が香川県にやってきました。首都圏で活動する「東京カメラガールズ」のメンバー。国内最大の女性カメラ愛好家サークルで、20から30代中心の女性約1000人で構成される。ウェブを活用したバウフルな発信力と、カメラ女子ならではの視点を持つ彼女たちは、4日間の撮影旅行で何を見つけ、何を切り撮ったのか。彼女たちのレンズを通した讃岐路から、「うどんだけじゃない」新たな旅の魅力を垣間見たい。



フラワーパーク浦島【西瀬エリア】

花々が咲く半島や謎の巨大砂絵、手積みアーチダムや世界的彫刻家の遺構などワクワクが詰まった香川の西。



カメラガールズ × 香川県の
特設サイト

東京
カメラ
ガールズ



<http://www.tcg-kagawa.com>

知事 日本最大のカメラを愛好する女性メンバーのサークル「東京カメラガールズ」の皆さんが、2015年秋に香川県を旅してくださいました。すでにSNSなどに次々と写真がアップされていますね。これにより、香川県の新たな見どころを多くの皆様に見ていただくことができます。そこで、今回の旅で発見した香川県の魅力などをお話しいただきましょう。本日は偶然にも香川県の岡端、東かがわ市と観音寺市を訪れた皆さんと、主に企業を訪問したメンバーがお越しくださいました。まずは、東かがわ市を訪れた中島さんにお話ししましょう。

中島 特に印象に残ったのが大内町の伝統芸能が楽しめる「おおち ほろ宵祭り」。地元の人々が楽しそうに町を盛り上げている姿を見て、和気あいあいとしてすてきなところだなと思いました。引田には和盆や手袋など魅力的な名産品があり、讃州井筒屋敷では体験もできるので、女子旅に「びったり!」と思いました。



もお薦めです。香川県には、他にも巨大なわらの竜に水を掛けるという「仁尾竜まつり」や奇抜な格好で練り歩く「ひょうげ祭り」などの奇祭もあり、絶好の被写体になりますよ。

山中 私が一番印象に残ったのは「寛永通宝」の銭形の砂絵。夕暮れ時の美しい情景と、ライトアップされた。ほかに、金や青のライトアップもあると現地の方から教えていただき、また違う表情の「寛永通宝」を撮影したいと思っています。「かがり手まり」の作品をたくさん見せていただいたのですが、ぜひ自分でも作ってみたいですね。ほかに、サマカイトの楽器が奏でる音色に魅せられてしまいました。普段はピアノの教師をしていますので、いつか共演することができればと夢見ています。

知事 「サマカイト」は坂出市などから産出されるガラス質の自然石。石とはわかに信じがたい美しい音を響かせます。

さて、香川県では、俳優の要潤さんを副知事として、「うどん県。それだけじゃない香川県」という切り口でPRを行っています。おかげで県外の若い方々にも香川県の名前を知っていただく機会が増えているようです。

知事 引田は「讃州井筒屋敷」をはじめ、今なお残る古い町並みも魅力ですね。宇多津町や丸亀市本島の笠島地区などにも、江戸の風情を残す家並みが残されています。こうした場所は撮影旅行にも一押しです。

佐藤 私は東かがわ市の水主神社に行きました。静かで本当にいいところでした。後で調べてみると、パワースポットだったんですね。自然豊かな景色や無人駅、かわいいカフェなど、女子旅を思う存分楽しみたいです。

知事 水主神社のご祭神は「倭迹迹日百襲姫命」。高松市鬼無町や女木島に伝わる桃太郎伝説にもゆかりの深い神様です。香川県には、こうした歴史のある神社仏閣が多く点在し、海の神様として有名な「こんぴらさん」や四国霊場を回った弘法大師、空海が誕生した寺として知られる総本山善通寺など、パワースポットも多くあります。

それでは今回の旅の魅力に加え、香川県でもう一度訪れてみたい場所や次回は行つてみたいと思うスポットをお教えください。

松崎 香川県は「うどん」というイメージが強かったのですが、実際に訪れてみると、アートなものやすてきなモノがたくさんあるところですね。また、観音寺市を案内して下さった観光協会の方をはじめ、香川の人たちは本当に温かいと感じました。その方たちにもまた会いに行きたい。「ちょうさ祭り」の迫力と雰囲気も印象的で、次もお祭りの時期に伺いたいですね。

知事 「ちょうさ」というのは、太鼓台とも呼ばれる山車のことですが、一台を新調するのに数千万円もするという豪華絢爛な山車。「ちょうさ」を見るだけでも価値がありますので、「年中、見学ができる「ちょうさ会館」

このように、香川といえば「讃岐うどん」が有名になりましたが、皆さんは他にも香川でおいしいものいろいろと出会ったようですね。

川尻 まず思い出すのは「オリーブハマチ」。ハマチ養殖発祥の地という東かがわ市でいただきましたが、まろやかな味で、本当においしかったです。

北澤 オリーブをエサにしているという「オリーブ牛」も「オリーブ豚」もオリーブがつくものは、どれもおいしくて、私もすっかりファンになりました。

川尻 「瓦せんべい」を焼いている所にもお邪魔しました。名前の通り瓦の形をしていて、堅いというのが特長のおせんべいですが、焼きたては温かくて少し軟らかくて、これもおいしかったです。普段はできない体験で、忘れられない撮影旅行になりました。

北澤 私は特別に和三盆づくりの作業場も見せていただきました。丁寧に手で作られていると知って、「うそでしょ!」と驚きました。口に入れてみると、他の甘味とは全く違う上品で深い味わい、この製法は何があってもやめないでほしいと思います。

知事 お菓子も食材も、香川にはまだまだおいしいものがめじろ押しです。フルーツも季節ごとに楽しめますので、また違うシーズンにも香川を味わっていただきたいですね。その食も新たなコンテンツの一つとして、今年3月20日から3回目の瀬戸内国際芸術祭が開催されます。風景の中にアート作品が置かれ、素晴らしいシャッターチャンスが訪れることでしょう。お話を伺い、皆さんが香川県にお越しくださったことに、ますます感謝いたしました。これからも皆様に愛され、選ばれる香川県であるよう努力を続けてまいります。今後とも、香川県をよろしくお願いたします。

カメラ女子も ときめく 「かがわ撮×旅」



東京カメラガールズ
写真右より
松崎 葉さん
川尻 ひろみさん
佐藤 和子さん
北澤 海月さん
山中 麻愛さん
中島 亜由美さん

香川県知事
浜田 恵造

瀬戸内食のフラム塾 その島らしさを 食で伝える



「瀬戸内の「食」を味わう「食プロジェクト」の一環として、昨年6月から8回にわたり「瀬戸内「食」のフラム塾」が開かれた。瀬戸内には、魚介をはじめ誇るべき美味が多い。また、独自の伝統料理や食習慣もある。来場者が「島の食」に触れる機会を増やすべく、「食」を通じた地域活性化を支える人材を育てるため、芸術祭の総合ディレクター・北川フラム氏自らが塾頭を務めた。

「アートの好きな人は、日々の暮らしに面白さを見つけるのが上手な人だと思います。きっと食にも大いに興味があるでしょう。アート目当てで来た人たちを、五感がイキイキするような食でおもてなしして、驚かせたいですね」と、北川氏は語る。

塾には、食のプロ、料理関係者だけでなく、主婦、会社員、若い人に自分の知見を伝えたい島のおばあちゃんまで、100人を超える多彩な人材が集まった。「食を通して、瀬戸内の魅力を伝えたい」という思いを受け継いだ塾生たちの活躍が期待される。

今回の芸術祭では、このテーマをより深く、具体的に発信する。アートの展示やイベントに加え、瀬戸内や香川の魅力発信と他地域との交流を目的に、3つのプロジェクトが展開される。

世界中から集まる人々を、地域の料理でもてなす試みが、「瀬戸内の「食」を味わう「食プロジェクト」だ。地理や歴史、生活など、その土地らしさを最も表すのが、食。芸術祭では、地元の人たちが中心になり、各島の食材や特性を生かしたメニューを開発し、「味わえるアート」として楽しむことができる。高松市の栗林公園商工奨励館では「讃岐の晩餐会」と題し、パフォーマンスを鑑賞し、地元食

材のおもてなし料理を味わう特別な夜会が開かれる。

「アジアを中心とした世界との文化的交流」は、夏会期の目玉になりそうだ。高松港にアジアの国々の食とものづくりのマーケット「瀬戸内アジア村」が設けられ、トップパフォーマーによるパフォーマンスも繰り広げられる。無国籍な食堂「ALL AWAY CAFE」(オールアウェイカフェ)では、世界からの来場者が言葉を超えて交流できる。

「豊かで特色ある瀬戸内の文化の発信」は、香川の特長ある魅力を発信。盆栽や獅子舞など、山や里で受け継がれる伝統を伝えるプロジェクトだ。



芸術祭をきっかけに、国際的に開かれていく瀬戸内は、固有の価値を再生しさらに発展させることで、世界にとって「希望の海」になることを目指している。

リン・シュンロン(林賢龍)
「国境を超えて」(作品イメージ)
1996年の人型が主作品。



瀬戸内国際芸術祭2016スタート

島々が アートを抱く108日

3月20日、瀬戸内国際芸術祭2016が幕を開け、多くの人々が瀬戸の島々を訪れる。来場者は作品を巡るうち、現代アートと島の共存に目を見張り、そこに住む人と話し、地元の料理を口にし、祭りに加わって、いつしか島そのものの虜になる。アートをきっかけに生まれる瀬戸内での体験は、芸術祭を旅する醍醐味でもある。今年は、島々と香川の魅力をより深く伝えるプロジェクトも立ち上がる。



藤本壮介「重島パヴィリオン」。2015年3月、重島の宮浦港に完成。アートの内部に入ることができる。

アートによる 海の復権

2010年に第1回を開催し今年で3回目となる瀬戸内国際芸術祭。12の島と2つの港を舞台に春・夏・秋の3会期で催され、出展されるアート作品・プロジェクトは200組超となる見込みだ。

アートの祭典として注目される芸術祭だが、基本テーマは「海の復権」である。瀬戸内海は古来より世界と日本を結ぶ交通の要所。常に新しい物と情報が行きかい、小さな島でも各々個性溢れる文化を育んだ。ところが、経済の都市集中が進む20世紀を経て過疎化と高齢化が進み、島は力を失ってしまふ。

しかし今、芸術祭をきっかけに、島は自信と活力を取り戻しつつある。国内外からの来場者が、島民さえ忘れかけていた歴史や伝統の価値を認め、称えたのだ。

2014年には、芸術祭での来島をきっかけに、人口約180人の男木島に子育て家族がUターンし、休校していた小中学校が再開した。まさに「復権」と言える、象徴的な出来事だ。

【会期】

春/2016年3月20日(日・春分の日)~4月17日(日)
夏/2016年7月18日(月・海の日)~9月4日(日)
秋/2016年10月8日(土)~11月6日(日)
期計108日

【会場】

直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、
沙弥島(春)、本島(秋)、高見島(秋)、粟島(秋)、
伊吹島(秋)、高松港・宇野港周辺
12島 全14会場

詳細は ▶ 瀬戸内国際芸術祭チケットセンター TEL087-811-7921にお問い合わせください。
瀬戸内国際芸術祭2016のホームページでも詳細をご案内いたします。 <http://setouchi-artfest.jp>

作品鑑賞バスポート

	当日
一般	5,000円
高校生(香川・岡山県以外)	3,500円

フェリー乗り放題3日間乗船券

	当日
大人(中学生以上)	2,500円
小人(小学生)	1,250円

【購入方法】
コンビニエンスストア、公共交通機関、主要旅行代理店、
各種プレイガイド等で販売しています。

香川産 せとうち旬新館

KAGAWA SEIHU
SETOUCHI SHUN SAI KAN

東京・新橋アンテナショップ
特産品、郷土料理、観光交流コーナーで
香川の旬をぜひどうぞ

3月1日(火)ー5月31日(火)

瀬戸内国際芸術祭2016開催記念

「瀬戸の島々の恵みフェア」を開催します



瀬戸内国際芸術祭2016の開催にあわせて、小豆島のオリブ商品や伊吹イロコ、直島の天日塩など、島ごとの個性的な特産品をそろえました。

東京からは、日比野克彦氏デザイン「晴後日バック」が登場。瀬戸内国際芸術祭の作品の一つ「一昨日丸」と対比して作られており、未来にゴミを残さないという思いが込められています。



郷土・せとうち料理「かおりひめ」では、旬の物を食材にしたぶっかけうどん(ミニ海鮮丼付)がランチで登場。高校工芸高校の生徒が作った漆器の丼を使います。夜はタイ、スズキ、カレーに讃岐三喜の料理が登場。

東京都港区新橋2-19-10新橋マリンビル1,2層
TEL 03-3574-2028
http://www.setouchi-shunsaikan.com/
観光交流コーナー TEL03-3574-2028

美しく幻想的な空間が広がる 栗林公園春のライトアップ

こども
要チェック!

栗林公園は、4月2日(土)から4月11日(日)までの10日間、春のライトアップを行います。

園内にある約300本の桜が見ごろを迎える中、桜の見どころが多い北庭を中心に、夜桜のトンネルや鮮やかに湖面に映り込んだ桜など園内各所に幻想的な空間を作り出します。青龍に浮かび上がる桜と美しい松の緑のコントラストはまさに圧巻。期間中は北湖で、和船の夜間運航を実施するほか、週末にはイベントも開催します。

【問い合わせ】栗林公園観光事務所 TEL087-833-7411



〔大阪で味わえる香川の恵み〕

香川の食材に大阪で出会った。
まずは大阪で。次はぜひ本場香川へ



香川産のしょうゆを使用

豪快にかぶりつのが香川流

香川のご当地グルメ「骨付鳥」

皮はパリッと、お肉は柔らかくジューシー。骨がついたままの鳥も肉をそのまま焼き上げ、一本丸ごと豪快にかぶりつきます。

大阪府池田市にある「焼鳥・骨付鳥 またたび」では、そんな香川自慢の「骨付鳥」が楽しめます。お店を切り盛りするのは三豊市出身の大西祐一オーナー。実家の居酒屋で修業を積み、地元香川で愛される「香川の居酒屋」をそのまま大阪に構えました。

最初は、骨付鳥はいちメニューに過ぎなかったのだから。そこからお客様の間で評判になり、今では一箇の看板メニューになりました。

「骨付鳥は、香川の人なら昔から食べている馴染みの味。ぜひ多くの方にこの味に親んでもらいたい」と話してくれました。



三豊市出身の大西オーナー

【焼鳥・骨付鳥 またたび】
大阪府池田市石橋2丁目16-5店内ビル201 TEL 072-780-0012

漫画「うどんの国の金色毛鷲」から うどん県食いしん坊 広報部長にポコが就任

香川県出身の漫画家、権丸のどかさんの作品「うどんの国の金色毛鷲」の大人気キャラクター「ポコ」が「うどん県食いしん坊」広報部長に就任しました。

本作品の舞台は香川県。故郷に帰ってきた主人公が子どもの姿に化けたタヌキ「ポコ」との出会いを通じて成長していく心温まる物語です。「うどん県。それだけじゃない香川県」プロジェクトともコラボレーション中。香川県公式観光サイト「うどん県旅ネット」には専用ページを開設しています。



2016年TVアニメ化決定

【問い合わせ】香川観光情報課 TEL087-832-3379
うどん県旅ネット http://www.my-kagawa.jp/poko/

いいコトや人、新しい自分に出会える旅を 今年は香川から始まる「逆打ち廻路」

開年の今年、四国廻路は「逆打ち廻路」の年です。

「逆打ち廻路」とは、四国八十八ヶ所霊場の第1番札所から順番に巡拝する「順打ち」とは逆に、香川県にある第88番札所大窪寺から巡拝を始めることをいいます。逆から巡拝することで、今年お「順打ち」で修行を続けている弘法大師に出会いやすいといわれており、いい人やもの、コトに出会える旅が期待できます。

その土地ならではの食や文化、地域の人々の「お接待」に触れることも四国廻路ならではの魅力。それぞれの思いを込めて巡る四国廻路は、自分と向き合う心の旅でもあります。

1日で体験する お廻路

第86番志度寺、第87番長尾寺、第88番大窪寺の最後の3ヶ所を巡る「上がり三ヶ寺」や、第71番弥谷寺から第77番道隆寺までを巡る「七ヶ所まわり」など、一日で手軽に楽しめるお廻路もあります。



県産食材の魅力を発信 「首都圏さぬきダイニング」がスタート

香川自慢の食材を首都圏の方々にも知っていただくこと、県産食材を使用したメニュー提供やフェアを開催する店舗を「首都圏さぬきダイニング」として認定しました。第1回目は、9店舗を認定。香川県産のオリーブやオリーブ牛、オリーブハマチ、さぬき産フルーツなど、年間を通じてさまざまな香川の食材が楽しめます。今後、県産食材を使ったメニューフェアや新メニューの開発も実施予定。お店ごとに素材の特長を生かした素晴らしいメニューを提供してくれます。

店舗名	業種
Uchibito 東京都港区六本木7-17-20明良ビル201	バル/ワインバー
オステリア・クワトロヴァッリ 東京都新宿区西谷3-9-11西谷シンコービル3F	イタリアン
音音 上野パンパーガーデン店 東京都台東区上野公園1-52パンパーガーデン2F	和食
銀座いしづか 東京都中央区銀座1-13-8ハビクル銀座5F	和食
Sun-mi高松 本店 東京都中央区銀座6-3-9	和食
Setouchi Kitchen 五反田店 東京都品川区西五反田1-28-4田口ビル1F	イタリアン
野らばー 内神田店 東京都千代田区内神田2-2-1鎌倉河津ビル81	和食・うどん
ベトラージュ ビストロジロー 東京都渋谷区宮ヶ谷1-10-5/パークサイドコグレ1F	フレンチ・ウクライナ・ビストロ
WASYOKU 鎌倉 東京都中央区銀座6-9-5ソフッド銀座3F	和食

【問い合わせ】香川県産品販売課 TEL087-832-3375
LOVE3636A http://www.kensanpin.org/shutokensanukidining/



第88番札所 大窪寺

うどん県副知事 本内高子さん

自分にあった巡り方で楽しむ

香川県にある札所は全部で23ヶ所。小さな県に比較的コンパクトにまとまっているので、限られた時間でも数ヶ所であれば、無理なく巡ることができます。

また、お廻路は必ずしも一度に全ての札所を巡拝する必要はありません。何回かに分けて巡る「区切り打ち」や、順序にこだわらず巡る「乱れ打ち」など、その巡拝の仕方はさまざまです。



豊かな自然の中で、 自分らしい田舎暮らしを実現

<三豊市財田町に移住 大石 秀子さん>

「香川県はすべてがコンパクト。都市が近いだけでなく、少し足を延ばせば海も山もあるので、遊ぶところには困りません」と話してくれたのは、大石秀子さん。1年半前に家族で神奈川県から三豊市財田町に移住してきました。

きっかけは「60歳を迎えたときの自分の姿が想像できない」というご主人の一言なのだから、大石さん自身も東日本大震災後、子育てに不安を感じていたそうです。

移住先を探すうえで、三豊市の空き家バンクを知り、そこで良い物件に出会いました。家には500㎡の畑が隣接しており、農業初心者だった大石さんも今では大規模な家庭菜園を楽しんでいます。「休日にはお気に入りの公園に出かけたり、庭でプチキャンプを楽しんだりしています。自然に囲まれながらも都市が近く、住みやすさを実感しています」と教えてくれました。

物件を探す際にお世話になった地元の不動産屋さんとは、今でも良いお付き合いをしているのだから、「地域に飛び込んでいこうとする気持ちがあれば、周りの

方々はきっと温かく迎えてくれます。これから移住を考えている方は、ぜひ自分のカンを感じてチャレンジしてほしい」と話す大石さん。ここでの生活がまた新しい出会いを生み出し、大石さんの香川暮らしは広がっていきます。



お気に入りの「徳重山公園」

【問い合わせ】香川地域活力推進課 TEL087-832-3125
おが暮らし http://www.kagawalife.jp/